

2月 学生団体SRGの作品が、学生PV選手権で入賞

学生PV選手権は、学生団体adoir（アドワール）運営の大会です。今回のテーマは、シンガーソングライターYUIの楽曲「I'll be」のプロモーションビデオ作成でした。

応募した作品は、歌を様々な学生に口ずさんでもらうといった内容で、この曲の明るさをアピールしました。これにはSRG以外の学生にも協力して頂き、計11人で作り上げました。制作にあたっては、映像メディアルームのビデオカメラ・三脚や、映像編集室を利用しました。全国の学生クリエイター18団体から応募がある中、入賞することが出来ました。

SRG (Student Research Group)：情報メディアセンター直轄の学生団体です。情報メディアセンターを使いやすくするための提案や、設備・機材を利用した活動（図書館案内ビデオの制作など）を行っています。最近では、映像編集室のPC管理も始めました。



撮影の様子



編集の様子



SRGメンバー

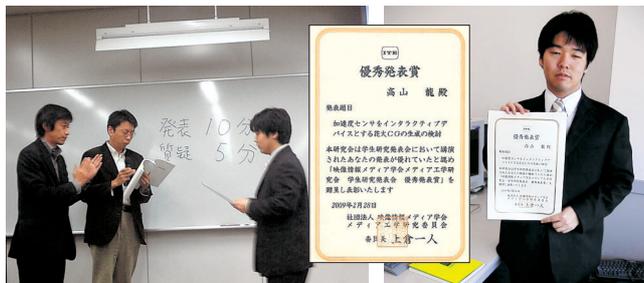
映像情報メディア学会研究会において、本学学生が「優秀発表賞」を受賞

環境情報学部情報メディア学科4年生（現環境情報学研究科M1）の高山龍君（奥平研究室）が映像情報メディア学会メディア工学研究会学生研究発表会（2009.2.28）において、優秀発表賞を受賞しました。

受賞の対象となった研究は、ユーザーが自由に振ったセンサーの動きを検知して、その方向、速さをもとに、コンピュータグラフィックスで花火の数や大きさを定め、リアルな画像を生成するものです。

メディア工学研究会は、文字・図形・画像・映像・音声等の各種のメディア情報処理、サービス、システム、および産業、教育、医学などの分野における画像情報の応用技術等に関する研究発表の場であり、当日の発表件数は学部生、大学院生合わせて33件、参加者は64名でした。

発表タイトル：「加速度センサをインタラクティブデバイスとする花火CGの生成の検討」



受賞の様子

高山龍君

小池研究室、幼稚園でのロボットを使用した活動をサポート

小池情報デザイン研究室では、五鳥育英会系列の二子幼稚園、NECと共同で NECのパーソナルロボットPaPeRo（パペロ）を使用して、幼稚園でロボットが使用される環境のデザインに関する研究を2003年から進めています。2009年には、園児の父母が園児のためにロボットを動かすサークル、「ママロボクラブ」設立の支援と、サークルがロボットの動作プログラムを製作するための技術的にサポートを行いました。ママロボクラブは、小池研究室のサポートを受けながら、園児の誕生日のためにロボットが園児の誕生日をお祝いする言葉を発したり、歌に合わせて踊るプログラムを製作しました。そして、実際に誕生日会で園児の前でロボットを動かしました。



パペロと園児たち

2月～3月

<海外研修>ネパールフィールド研修プログラム2009を実施

2009年2月26日から3月9日にかけて、ネパールフィールド研修プログラムを実施しました。これは環境情報学部の学生と教職員等が協力して運営する“ネパールプロジェクト”の一環として、毎年ネパール現地において実施している研修プログラムであり、発展途上の環境問題や社会問題を体験学習するとともに、ネパールの大学生たちとの国際交流を図る目的で行われています。

また、環境情報学部が進められている情報技術による“サイバーキャンパス整備事業”として取材班が同行し、デジタル機器を使ったサポートを行うことで、教育効果の高いプログラムを実現しています。

ネパールフィールド研修プログラムは、ネパールのナショナル大学と連携して行われています。今回は、環境情報学部から20名の学生が参加し、首都カトマンズとチトワン国立公園でのプログラムを実施しました。研修プログラムでは、ネパールの都市部とチトワン周辺の農村部の双方における①バイオガス事業、②環境教育活動、③コミュニティ・フォレスト、の3点を中心として体験的に学び、ネパールの大学生と英語でコミュニケーションを取りながら、インタビュー、ディスカッション、プレゼンテーションで、理解と考察を深めました。

参加学生の満足度は高く、日本とは全く環境の異なるネパールの地で、多くの体験を得ることができました。特にナショナル大学の学生と本学の学生との交流は、貴重な体験であっただけでなく、強い絆を築くこととなりました。

サイバーキャンパス整備事業からの取材班は、これらの研修プログラムをサポートしつつ、ほぼ全ての研修プログラムについて、学生たちの研修活動を取材し、動画・画像コンテンツとして収めました。これらの教育素材は、今後のe-ラーニング教材やネパールプロジェクトでの環境教育を支援するための教材として活用されています。



ナショナル大学での専門家によるバイオガスについての講義



カトマンズ都市部 家屋の屋上に設置されているバイオガスを視察



チタワン農村の女性達。頭に物を載せて運んでいる



チタワン 地元の農家でバイオガスやコミュニティフォレストについてのインタビュー調査

6月 大谷研究室で就職支援システムを独自に開発

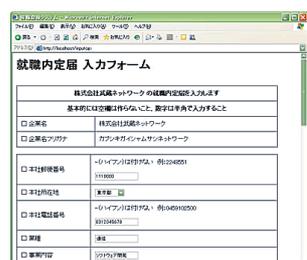
情報メディア学科大谷研究室では、2004年より「実用的なシステムの設計と構築」というプロジェクトに取り組んでいます。

学内で実際に利用されるシステムを設計・構築することで、ユーザを支援するだけでなく、システムエンジニアの上流工程と下流工程を体験し、必要な素養を身につけようというプロジェクトです。プログラミング技術や仕様設計手順が学べるのはもちろんのこと、グループでのシステム開発やユーザとのやり取りを通して、コミュニケーション能力を磨くことができます。2008年度は「進路/内定状況登録・閲覧システム」に取り組み、就職活動をしている学生、これから就職活動をする学生、学生を指導する教職員の役に立つシステムを構築しました。

このシステムとプロジェクトに関する記事が、2009年6月8日（月）の神奈川新聞に掲載されました。



神奈川新聞 2009（平成21）年6月8日
17面掲載（転載承諾済）
記者 宮島真希子さん



「進路/内定状況登録・閲覧システム」
内定届入力フォーム

8月 小池研究室、神奈川新聞のインフォグラフィックスをデザイン

小池情報デザイン研究室では神奈川新聞と連携して、衆議院選挙に若者の投票行動を促すインフォグラフィックスをデザインしました。小池准教授と小池研究室の3年生10名が、神奈川新聞 8月25日の朝刊の1ページ全面を使ったインフォグラフィックスのデザインに取り組みました。

インフォグラフィックスは、情報をテキストだけではなく、グラフィックスも使用して伝えるデザイン手法であり、新聞の記事をわかりやすくする手法として注目されています。

岡部研究室「学生とアーティストによるアート交流プログラム」に採択

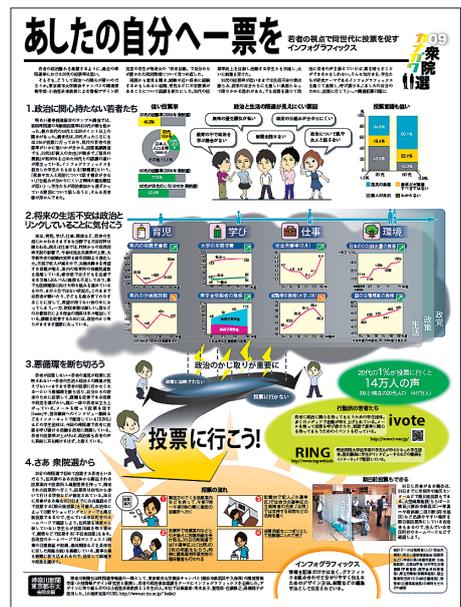
情報メディア学科岡部研究室は、財団法人東京都歴史文化財団主催の「学生とアーティストによるアート交流プログラム」共催者として採択され、9月1日から12月9日まで、東京都の「墨東エリア」にて開催されるアートイベント「墨東まち見世2009」にてフィールドワークを中心とした調査を実施しました。

隅田川の東に広がる墨東エリアは、江戸の昔から文人たちが集い、多彩な文化を育んだ地域として知られています。このエリアに17組のアーティストたちが集まり、地域の生活を文化として活かしたアートプロジェクトを展開します。

岡部研究室では、デザイナーとともにこの「墨東まち見世2009」のwebサイトを作成しました。期間中はアーティストの活動に学生が参加し、アートを通して街に関わるフィールドワークを実施します。また、フィールドワークを通して得られた知見を元に、webやモバイルを用いた情報提供、アートイベントや街の可視化を考えていきます。



作業風景



神奈川新聞に掲載されたインフォグラフィックス



Webページ

10月 小池研究室、多摩市ミニバスのラッピングをデザイン

小池情報デザイン研究室は、公共交通のデザインに取り組んでいます。東京都多摩市が運営するミニバスのラッピングをデザインしました。現在多摩市では、東西線、南北線の2路線のミニバスを運航していますが、2009年度の東西線のミニバスの車体更新にともない、多摩市役所から車体のラッピングデザインの委託を受けました。

デザインは小池准教授と小池研究室の3年生10名が担当しました。ラッピングは住民や、多摩市と検討してピンクの車体に山桜を使用したものに決定しました。山桜は多摩市の「市の花」であり、車体には、山桜が舞っていく姿が描かれています。この新しいラッピングのバスは10月23日から東西線において就航しました。



完成したバス



作業風景

11月 MDDロボットチャレンジ2009・飛行船ロボットコンテストで
環境情報学部学生チームが優勝/最優秀賞を受賞

2009年10月21日、22日に開催された第6回MDDロボットチャレンジ・飛行船ロボットコンテストに、小倉信彦准教授指導のもと環境情報学部/大学院環境情報学研究科の学生チーム「ふわっと」(小倉研究室の本宮茂雄君・古川潤君・熊野一彦君および、諏訪研究室の石井孝規君・柴田吉範君)が参加し、飛行競技部門最優秀賞、相撲競技部門優勝、総合部門最優秀賞の各賞を受賞し、表彰されました。



各賞の賞状

本コンテストは、砂漠で動物の調査をする飛行船をモチーフとした室内用の自律制御の小型飛行船ロボットシステムをモデル駆動開発に従って開発し、その過程で得られるモデルや飛行内容を競うコンテストであり、ハードウェア、ソフトウェア、制御、計測を含めた様々な技術が必要となる組込みシステムの開発方法の研究や教育、産学交流を目的とし、組込みシステムシンポジウム2009 (ESS2009) (情報処理学会組込みシステム研究会主催) の特別企画として開催されたものです。



立ち寄り点(青風船)へ接近する飛行船



着陸点へ接近する飛行船



相撲競技で大きい飛行船相手に押し合う様子(左が東京都市大学チーム)

12月 渡部研究室、岡部研究室の学生チームが「神奈川産学チャレンジプログラム」で最優秀賞・優秀賞を受賞

環境情報学部情報メディア学科渡部研究室、岡部研究室所属の3年生を中心とした3グループが、神奈川経済同友会による「第6回神奈川産学チャレンジプログラム」において最優秀賞・優秀賞を受賞しました。

「三浦半島の特性を生かしたイベントの開催について」というテーマに取り組んだグループが最優秀賞、「京急沿線における新たなITサービスの提案」、「相鉄グループ携帯電話サイト『相鉄モバイル』で提供すべきサービス・魅力的なコンテンツの提案」というテーマに取り組んだグループが優秀賞という結果となりました。半年以上にわたる地道な努力の結果が受賞につながったと思われます。



授賞式の様子



三浦半島におけるフィールドワークの様子



相鉄線フィールドワークの様子

ネパールプロジェクトがグローバル教育コンクール2009で
学校賞と佳作を受賞

外務省主催のグローバル教育コンクール2009でネパールプロジェクトが学校賞、ネパールプロジェクトで活動している椎橋さん、清水さんが素材部門でそれぞれ佳作を受賞しました。

ネパールプロジェクトとは発展途上国であるネパールをフィールドとし、人々の環境認識の向上、国際的な交流を目的とし、「環境教育」、「廃棄物処理方法の向上」をメインテーマとして活動しているプロジェクトです。



コンクールナビゲーターの池上彰氏との記念撮影